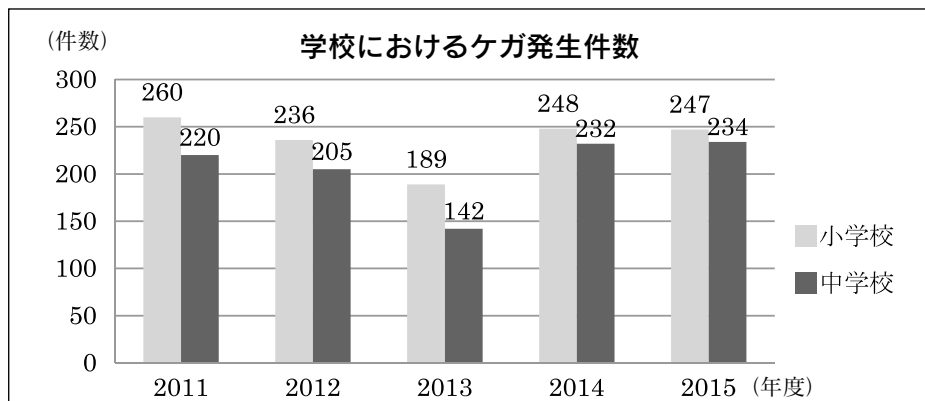


表1



日本スポーツ振興センター（病院で受診が必要なケガ）による市内小・中学校のケガの件数は、表1のとおりです。

学校や保育所におけるケガの予防
セーフコミュニティちちぶ



写真1

小中学校とも、毎年約200件以上のケガが発生しており、小学校では「休憩時間」が、中学校では「体育的部（クラブ）活動」が最も多くなっています。各学校でも予防対策を行っています。各学校でも子どもの安全対策委員会では、セーフスクール推進校と連携し、校内の「安全マップの作成」や部活動における「安全点検」（写真1）および準備・整理運動（写真2）などを定めた「安全指針」の策定を行い、ケガの予防に努めています。

表2

年 度	市立保育所でのケガ発生件数 (全5施設)
平成29年度	157件 (4月～12月)
平成28年度	360件

また、いじめを予防する取り組みについても行っており、引き続き、取り組みの効果を検証してまいります。

表2は、市立保育所におけるケガの発生件数です。平成28年4月から各保育所において集計を行っています。



写真2

セーフコミュニティ子どもの安全対策委員会では、引き続き、学校や保育所、幼稚園などと連携し、データに基づく予防対策を研究・実施します。皆様のご理解・ご協力をお願いします。



写真3

集計結果に基づく簡易分析を行ったところ、子ども同士がぶつかることによるケガが最も多いことが分かりました。

分析結果については各保育所間で情報共有し、日頃からケガ予防に取り組んでおります。

また、子どもの安全対策委員会では、市立保育所と連携し、子どもが自発的な行動からケガを予防できるよう、「危険予測学習」（写真3）を実施しました。

問 危機管理課 ☎ 22-2206